

平成 24 年度の 1 月～3 月にかけて、洋光台エリア会議（第 3 回）とワークショップ（全体・テーマ別）を開催しました。その概要をお知らせします。

■テーマ別ワークショップ概要

昨年に引き続き各テーマで議論を行い、第 2 回全体ワークショップで報告を行いました。

テーマ	A：駅前活性化	B：コミュニティ活性化・多世代交流
開催日	第 2 回：平成 25 年 1 月 21 日（月） 第 3 回：平成 25 年 2 月 25 日（月）	第 2 回：平成 25 年 1 月 22 日（火） 第 3 回：平成 25 年 2 月 26 日（火）
H24 年度の成果と課題 今後について	駅前に集う人の雰囲気や「洋光台らしさ」が大切だということは分かったが、具体的なイメージを表現することは難しい。今後は具体的な場所を決め、アイディアを出す中から、洋光台らしさが見えてくるかも。	ワークショップメンバーですぐに実践出来そうな多世代交流のアイディア（マップづくり、まちの人探検、若者に話を聞く、まちの小図書館）が出た。後は順番とプログラムを考え、Cyo アクション*として実践し、そこから学ぶ方法を考えていこう。

*「Cyo アクション（コミュニティ・洋光台・アイディア、「ちょい」と読みます）」は洋光台のコミュニティ活性化につながる「ちょい」とした「ちょいちょい」できる活動・行動を意味します。

■第 2 回 全体ワークショップ概要

平成 24 年度のワークショップのまとめとして、第 2 回全体ワークショップを行いました。

開催日時・場所	平成 25 年 3 月 10 日（土）14:00～16:50 洋光台北団地集会所
参加者 （計 41 名）	洋光台まちづくり協議会、町内会・自治会、PTA、地区社協、子育て・高齢者支援組織、地域活動組織、大学生、神奈川県、横浜市、磯子区、UR 都市機構、まちづくりコンサルタント等
プログラム	(1)これまでの活動報告等（テーマ別ワークショップ・UR・県・市等） (2)カフェタイム（参加者の縁作り） (3) ワークショップの感想、今後の予定

「洋光台エンジン」始動！

ワークショップでの様々な意見から「つながり」の大切さが見えてきました。その「つながり」のキーワードとして『縁』を中心とした「えん（援・宴・延・演・円・園）」が登場。この「えん」を動かすのは人であること、ワークショップも話し合いに加え、実践（Cyo アクション）も動き出したことから、今後のまちづくりを進めるイメージを、自ら「えん」を動かしていく人たちを意味する「洋光台エンジン（えんじん・縁人）」という言葉にまとめ、参加者で共有しました。



「洋光台エンジン」の説明

全体ワークショップの様子



最初の Cyo アクション
桜マップづくりのための情報収集

■ 第3回 洋光台エリア会議概要

第3回洋光台エリア会議では平成24年度の取り組みのまとめを行い、様々な取り組みと今後の進め方について意見交換を行いました。

開催日時・場所	平成25年3月22日（金） 於：洋光台北団地集会所
参加者	有識者・洋光台まちづくり協議会・神奈川県・横浜市・磯子区・UR都市機構
議事内容	(1)平成24年度洋光台エリア会議の取り組みについて（県・市・UR） (2)情報発信に関して (3)今後の予定～基礎調査に関して (4)意見交換

《平成24年度洋光台エリア会議の取り組みと今後のすめ方》

＜平成24年度取り組み内容＞

①地域活動団体ヒアリング（高齢者支援・子育て支援・多世代交流団体等8団体）／②全体ワークショップ（2回実施、延べ参加人数115人）／③テーマ別ワークショップ（A・B計6回実施、延べ参加人数189人）／④多世代近居のまちづくり（展開イメージ作成）／⑤多世代交流担い手講座（空き店舗活用による多世代交流拠点の試行、参加8名、3日間実施、来場者数320名）／⑥住み替え相談会（3回実施）／⑦次世代育成プロジェクト（市内高校生によるまちづくり提案）／⑧共創フォーラム（民間企業へ洋光台の取り組みを紹介）

＜第3回会議での主な意見等＞

- テーマBで始まりつつある「Cyo!アクション」は面白そうな取り組み。テーマAでも取り入れ、それが位置づくると今後の道筋が見えたという参加者が感じられるのではないかと。
- 駅前の活性化に向けた課題は地域活動拠点の設置だけでは難しい部分がある。
- 地域活動拠点を継続的に行うには支える組織と財源が必要だが、財源の答えは見えない。
- 活動主体とスペースを借りる運営主体は同じ組織でなくとも上手くいく構造は考えられる。
- 洋光台の住民や高校生の声を広く聞く機会を出来るだけ持ちたい。
- 継続的に若い人がまちに留まり関わる仕組みが必要。
- 洋光台では本のニーズがあるが図書館がない。行政では難しいので任意の図書室が出来ないか。
- エリア会議の取り組みは、若い人にも魅力的なまちになる等、広く多世代近居につながる。
- 地域と駅前の活性化については、一時の取り組みではなく段階的な仕掛けで進めるべき。

＜今後の進め方＞

a：洋光台駅前商店街への地域活動拠点の設置に向けた検討（①②③⑥）

- テーマ別Aで継続的に検討し、成果の一部は駅前広場コンペ（UR実施）等につなげる。

b：地域北部における福祉及び多世代交流拠点に関する検討（①②③）

- テーマ別Bで継続的に検討し、成果の一部は集会所改修コンペ（UR実施）等につなげる。

c：地域が必要とする新たな移動手段（モビリティ）導入の検討（①②③）

- ワークショップにおいて、関連する移動手段の課題・取り組み等について意見を収集する。

d：円滑な地域内住み替えに向けた検討（①②⑤⑦）

- 地域内住み替えの実態・ニーズ把握及び支援方策等は平成25年度以降の検討テーマとする。

e：H25年度以降の洋光台エリア会議の体制及び対象エリアの検討

- 当面は現体制・メンバーを継続し、将来的に拡大を図ることを念頭に置く。

f：中層住棟屋上等への太陽光パネル設置・エネルギー活用に向けた検討

- 団地管理における小型EVの活用、UR中層住棟への太陽光パネルの設置等の検討を行う。

g：基礎調査（事業効果指標検討）

- ワークショップでの意見等をより広い地域の声として確認・検証するアンケートの企画・検討。

洋光台エリア会議はまちづくりに関わる様々な取り組みを地域みなさんと共に行います。
今年度もたくさんのご協力・ご支援をよろしくお願い致します。